



初まいるり...
元日、午後三時・写

報新 入善

発行所 富山県入善町役場
編集発行責任者 本田 治
印刷所 入善町田中印刷所

No. 96

昭和40年1月10日発行

謹賀新年

入善町役場

- 町長 米沢 甚吾
- 助役 寺崎 清作
- 収入役 杉原礼次郎
- 総務課長 本田 清治
- 税務課長 坂東 賢
- 民生課長 西尾 三郎
- 産業課長 竹島 米吉
- 建設課長 宮腰 由則
- 住民課長 本多 忠義
- 舟見支所長 入江安正
- 外 職員 一同

入善町議会

- 議長 金沢 太一
- 副議長 大角 正次
- 総務委員長 松田幸与作

副委員長

- 谷 雪枝
- 大角 正次
- 大田 元長
- 金沢 太一
- 野島 正一
- 小堀 吉郎
- 嶋田 久之
- 文教厚生委員長 廣田 久吉
- 副委員長 渡辺 耕一
- 委員 三賀しさい
- 岩田 磯吉
- 柏原 三郎
- 佐藤 光昭
- 中易 清
- 上野 幸一
- 稲村 繁
- 産業建設委員長

教育委員会

- 委員長 坂本 米蔵
- 職務代理 新田 義政
- 委員 泉 俊一
- 奥田 新一
- 教育委員長 清田 新一
- 総務課長 森下 政雄

副委員長

- 宝田 吉松
- 笹原 竹松
- 米沢 政虎
- 福沢 忠命
- 西尾 三郎
- 柚木 春雄
- 車 憲一
- 長島啓太郎
- 西島 三郎
- 事務局長 森 栄

平和と繁栄の町政を

●二千四百万円の減税

一九六五年の輝かしい新春を迎えましておめでとうございませす。

昨年中は町民の皆様には、いろいろのご指導をうけたことを深く感謝申し上げます。

なお、本年も相変らず、ご指導ご支援のほどお願い申し上げます。

このめでたい新春にあたり、私の平素思っている一端を述べてみたいと思います。

第一に政府の指示にしたがい町民税については本文方式により、昨年より二、四〇〇万円ほどの減税をいたしたいと考えております。

つぎに町の発展は産業の開発であります。

入善町の主産業である農業については、格別の努力をいたし昨年につき農業の近代化、す

頭 の こ と

町民のみなさまおめでとうございます。

みなさまには一家お揃いで楽しいお正月をお迎えになったこととお喜び申し上げます
旧年を送り、新年を迎えるのは、流れる大河のほとりに、たえずに似ております。



町議会 議長
金沢 太一

要望は議会へ

流れ去った一九六四年は入善町政において、ひとつの時期を画する年だったと見ることができます。すなわち新町合併以来、町民多年の念願だった工場誘致に成功。入善機械工業センターの建設、トヨタ系自動車部品会社、新和工業の誘致は近來の快挙で町の飛躍的發展の第一

こととなりますが、そこにまた大入善町の前途に限りなき希望と夢が含まれているわけであります。
その他あらゆる産業文化の根

なわち土地改良、基盤整備に全力をつくし、農業の敵である防除については、充分に意をそぐつもりであります。

中小企業については国、県の企画に基づき、でき得る限りの指導を申し上げたいつもりであります。

全町民の待望の基である新和工業については、敷地の農地転用手続きも完了し、近く敷地の整地に着手し、完了と共に本建築に着手され、遅くとも七月には操業を期待しているものであります。

建設事業については河川の改修、道路橋梁の維持修繕に万全を期し、海岸および黒部川の護岸については、県および国に要請し、その全くを期しています
民生事業については町民福祉の完全を期待し、もつとく意

歩をふんだといえましよう。
これからの目標としては、町立学校の統合問題、県立高等技術学校の統合問題、役場庁舎の建設、県立高等学校の育成、総合体育施設の建設、酪農、球根など主要産業の育成など、ますます多事、多難の年をむかえます

入善町長 米沢 甚吾



してもらいたいと思います。

教育については、長期の人づくりに対する投資と考へ、充分に意をくみ、備品の拡充、校舎の維持修繕に力をそぎたい。
学校統合については、まず第一に教育的効果の向上を基として話し合いに入りたい。

先記に申したとおり、本年は税の伸びも少なく、国、県の緊縮施策もありますので財政的には非常に苦しい年になるのではないかと心配しているものであります。
三万町民のご協力により平和と繁栄を期待した明かるい町政を行ないたいと思っております。よろしくお願いたします。

幹をなす道路網の整備、農業基幹都市としての長期計画の樹立と具体化、商工業、漁業の振興育成、厚生施設の増強、学校施設の充実、消防機動力の強化など幾多の解決すべき問題が山積し、これに要する経費も極めて多額に上るのであります。

一方町民の台所に直結する税金についても、その軽減を要望する世論の動向を察知し、国の方針に従い、新年度からは町民税において約二、四〇〇万円の減税を実施することと致しました。

どうか町民各位には議会を通じて、いろいろな要望を町政に反映され、町勢の発展により一層のご協力を賜わるようお願い申し上げます。
最後に町民諸賢のご健康とご活躍をお祈りし年頭のことばと致します。

火の用心

入善町消防本部

昭和三十九年中に発生した、入善町の火災状況はつぎのとおりです。

発生件数 二十一件

損害見積額 九百六十万三千円

・種別 件数 種別 件数

火遊び 七 なたつ 三

取灰 二 残り火 二

煙突の飛火 二

石油コンロ転倒

煙突の過熱

乾燥機の過熱

落雷

アイロンの切り忘れ

以上のように、子供の火遊びが最も多く、年令からみると七才位までの子供ですので、お子さんのおられる方は充分注意してください。

成人の日

を迎えて

1月15日は成人の日。今年成人式を迎えられる人は、県下で約二万人といわれます。今度成人式を迎えられる方には心から「おめでとう」とお祝い申し上げます。

各地ではこの日を中心に、新しく成人された人、成人される人の門出を祝う行事が行なわれます。それは、社会人として立派に成長し、一本立ちしたことを社会が認める式です。

これからは、結婚も、売買契約も、就職も自分の力と判断で有効に成立することになるわけで、それだけに責任もついても増えます。政治についても、選挙権が与えられます。昨日のあなたと明日のあなたは外見上何の変わりもないと思っても、内容的には随分変わっています。その意味では、昨日のあなたは今日のおなたではありません。おとなになった自覚と責任をもつて進まれるよう、お願いたします。

富山県農業基本調査からみた農家のすがた

昨年二月一日現在で調査しました富山県農業基本調査の結果が、このほど県統計課から公表されましたので、この調査によってえがきだされた本町の農家のすがたにスポットをあててみました。

「農家数、人口とも年々減少」
まず農家数からいきたいと思います。農業基本調査で集計された本町の農家数は第一表で示しますとおり三、九二一戸、農家人口は一九、四六〇人で、世帯数、人口とも年々減少の傾向にあり、昭和三十五年世界農林業センサスと比較してみますと世帯数で四十四、人口で一、二四四人も減少していることがわかりました。また本町の総世帯数からみた農家数の占める割合は六二・

八%もあり、いぜん農業中心の町といえます。

しかし最近の日本経済の高度

成長は農業構造にいろいろな側面から影響を与えており、とくに労働力市場の拡大に伴って農業就業人口は年々減少し、農業労働力の女性化、老令化をきたし、若手層が離農するいわゆる「三ちゃん農業」に陥していることは誠に好ましくない傾向であります。

また第二表で示しますとおり専業農家が著しく減少を示し、兼業農家が増加しつつあることは農家所得の上昇という点から好ましいが、農地が細分化されつつある現状において農業の零細性を固持し農業所得と結びつかないということが言えないでしょう。ここにも農業の近代化の遅れている原因があるようです。

(第2表) 専業兼業別農家数

調査月日	総農家数	専業農家	第一種兼業農家	第二種兼業農家
昭35.2.1	3,965	987	1,908	1,070
昭36.2.1	3,952	1,054	1,861	1,037
昭37.2.1	3,944	798	1,860	1,286
昭38.2.1	3,933	692	1,911	1,330
昭39.2.1	3,921	543	1,907	1,466

魅力ある農業へ。

これが対策として第一点に、農業は自然条件に大きく左右される反面、かなりの熟練を要する産業であるから、良質の労働力確保が必要で、若手の労働力をつかむことが大切でありました。これには、①農業をもっと魅力あるものとし、農業労働力を軽減する。②農村の封建性を打破し若い人の意見も尊重する。③文化娯楽施設を整備すること等が必要でしょう。

第二点として現在の農地法を改正して農地の売買、賃貸借等農地の権利移転を円滑にする。相続による土地の細分化を防止する。また農業近代化の具体策として農業技術、経営の指導強化と長期低利な近代化資金の貸付を行ない、経営規模の拡

大、生産活動の協業化、大型農機具をはじめ種々の近代技術の導入を行うことが必要でしょう。

また、第三表で示しますとおり農業専従者が女が七三%も占め、年令的にも五十代以上の人が多数を占めていますが、この逆の方向に変化して初めて魅力ある近代農業が達成されることでありましょう。

(第1表)

調査月日	農家戸数	農家人口	耕地面積				一戸当り面積	調査名
			総数	田	畑	密閑地		
昭35.2.1	3,965	20,704	3,819.8	3,774.6	41.0	1.2	9.6	世界農業センサス
36.2.1	3,952	20,510	3,818.4	3,779.4	37.8	1.2	9.6	富山県農業基本調査
37.2.1	3,944	20,312	3,806.5	3,767.0	38.9	0.6	9.6	"
38.2.1	3,933	19,935	3,789.4	3,751.7	37.0	0.7	9.6	"
39.2.1	3,921	19,460	3,775.9	3,733.1	37.0	0.8	9.6	"

(第3表) 経営耕地広狭別、就業状態別、常住世帯員数

数	常住世帯員総数			自家農業だけに従事した人			自家農業にも他産業にも従事した人						他産業だけに従事した人			自家農業にも他産業にも従事しなかった人		
	総数	男	女	総数	男	女	自家農業に働くのが主			他産業に働くのが主			総数	男	女	総数	男	女
							総数	男	女	総数	男	女						
総数	19,460	9,480	9,980	5,936	1,621	4,315	1,795	1,092	703	1,259	913	346	2,690	2,057	633	7,780	3,797	3,983
1反未満 (例外規定農家)	8	6	2	1		1				1		1	2	2		4	4	
1反以上	1,600	757	843	262	34	228	41	5	36	206	104	102	419	297	122	672	317	355
3反未満	2,087	999	1,088	417	54	363	113	30	83	242	156	86	475	361	114	840	398	442
5反以上	5,917	2,885	3,032	1,629	354	1,275	528	280	248	471	364	107	957	750	207	2,332	1,137	1,195
1町以上	5,939	2,922	3,017	2,007	555	1,452	731	499	232	264	225	39	589	469	120	2,348	1,174	1,174
1.5町未満	3,258	1,594	1,664	1,327	506	821	326	235	91	67	58	9	213	160	53	1,325	635	690
2町以上	646	315	331	288	116	172	56	43	13	8	6	2	35	18	17	259	132	127
3町以上	5	2	3	5	2	3												

センサスで伸びる農業わく笑顔

消防団 出初め式

1月6日

寒風をつくく一せい放水

勇壮、果敢なはだか放水も

入善町消防団の出初め式は、雲一つない日本晴れにめぐまれた六日、勇ましくおこなわれました。

まず、午前八時半より、入善小校庭において、制服、制帽に身をかためた十分団、三百六十

人の団員が整列。町長はじめ、町議会議長、県消防課長などの来賓を迎えて、服装、機械器具を点検、柚木団長より火災発生想定のもと「出動」の声を合図に機械工業センター内での一せい放水にむかいました。その間のスピーティな動きは、さすがは消防団と目を見はらせるものがあり、おりから、センター内の工場の従業員たちも、青空に水しぶきをあげる一せい放水の見事さに見とれていました。名物の裸放水は中町通りにおいて、入善分団大角班長以下八名の団員が実演。快晴とはいえ、氷のはりついた冷たい路面を、ものもしない勇壮さに、黒山の見物人も大きな拍手をおこっていました。その後、規律正しい分列行進



柚木団長、赤尾県消防課長、米沢町長による団員の検閲 → 入善小学校々庭において

によって中央公民館前へ集合。任命、昇任辞令の交布、退団者に感謝状を贈呈し、万才を唱えて解散しました。



5年に1回の (2月1日) 農業センサス

最近の農業は大きく変わっています。昭和三十五年二月から三十八年末までの四年間に、農業人口は全国で一八〇万人も減り耕作規模一・五ヘクタール以上の農家が五万戸も増えました。これは農業の人手不足や、零細農業からの脱却を表わすものといえます。

基礎資料にするための重要な調査で、調査の正確性、敏速性が強く要求されるものであります。調査は二月一日前後に、調査員が直接お宅を訪問して行なわれます。もし、この調査が行なわれないと、適正に行なわれないと、農業政策にも誤った政策がとられることになりかねませんから、調査員の質問や調査にご協力くださるようお願いいたします。

若いあなたの職場です

自衛隊



第4次自衛隊募集中

昭和39年は若い人も熱中させ日本民族の戦後の復興ぶりを世界に誇示した東京オリンピックの年でした。この大成功のかけには自衛隊の全面的な支援があったことを忘れてはなりません。平和日本の自衛隊は若いあなたの才能を活かす絶好の職場です。

●募集人員

- 2等陸士 6000名
- 海士 2000名
- 空士 1971名

●受付 3月末日までに役場総務課で資格

満18才~25才未満の男子で中学校卒業程度の学力を有する者

◎第3次自衛隊入隊者

- 2等陸士 青木 岩山光雄

◎自衛隊相談所

- 上野幸一氏 (入善14区・電48)
- 野島正一氏 (舟見3区・電34)



公明選挙運動と 主権者意識の向上

入善町選挙管理委員会

公明選挙という言葉は今日では小学生でも知っている聞き慣れた言葉であります。この運動は終戦後新憲法の下に行なわれた初の衆議院総選挙において事前運動の横行に直面し、いろいろの選挙違反に直面し、これを何とかせねばならぬという声が民間の中からわき起り、言論、実業、経済、婦人等各界の全面的支持により「公明選挙連盟」の結成が発端となったものであります。すでに十有余年の長きにわたりこの運動は続けられてきました。

しかし幾度かの選挙における違反の検挙件数は決して減少してはいませんが、その検挙を容易にしたのも国民の公明選挙を望む声や世論の動きが高まって来たことが背景になっていたからでもあるし、また、婦人の政治意識が高まってきている事も、公明選挙運動の成果が徐々に

はあるが、現われて来ている事

の一端といえるでしょう。民主政治がわが国の政治風土の中に真にとけこんだ、身についたものとなるには、まだ長い年月を経なければならぬと思えます。選挙制度は、その国の歴史とともに練り鍛えられて成長していくべきものであることを考えるとき、性急に公明選挙運動の効果を云々するには問題があると思えますが、現実には選挙の実態をみると、膨大な選挙費用の事や、買収、供給が絶

公明選挙宣言塔建つ



るでしょう。

農業を中心に生活するならばそれ相当の対策を考えなければなりません。耕地をどのように利用するか、設備や資金はどのように準備するか、労力の割りふりをどうするか、

降雪期を迎えて、いま農家は一年中で一番ヒマな時です。過去の農業をふりかえてみて、今年の農家経営をどのようにしてゆくかをユックリと考えてみましょう。

生計費は毎年毎年かさんでゆきます。わが家の生活水準と、将来の計画図を考えて、今年の計画をたてましょう。

それはすべて大づかみな概算でも結構なことです。そうすれば、多少の借金をしてでも耕地を買うとか、反対に自家労力で手にあまる部分

を売り払って他に収入の道を考えるということも決断でき

今年の農家経営

うではないけません。飛躍的な拡大ができない反面、こういった地味な面を考慮するのみならず、一歩一歩確実に前進できるのです。

えない事実は、これらの悪質な違反を行なう候補者、運動員の存在とともに、この違反を受け入れる社会の基盤、底流があることも見逃せないところであり

ます。この底流を崩さないことには如何に選挙制度を改正しようとする事である。もちろん選挙法の改正は社会の実情に適合させる事や、違反者への厳罰の必要もありましょう。しかしこれはあくまで車輪にたとえれば片側の車であって、他の一輪はどうしても国民一人一人の自覚、すなわち主権者意識の向上に待たざるを得ないものと信じます。そしてこの主権者意識の向上こそ公明選挙運動の成功の鍵であり、ひいてはわが国の民主主義達成への近道と信じます。

ことしは選挙の年で、醜い選挙違反のない明かるい入善町建設のため、昨年暮より入善町中央公民館前に建設を急いでいた宣言塔は立派に完成しました。今後私たちの郷土がこの塔に恥じない公明選挙が行なわれるよう、お互いに努力したいものです。

基本選挙人名簿をきまると

昭和三十九年九月十五日調製の基本選挙人名簿は同年十二月二十日確定し本年の十二月十九日まで有効な名簿として、六月に行なわれる参議院議員選挙、および十月に行なわれる町議会議員選挙に使用することになり

に必要選挙権を有する者の総数の五〇分の一の数 三百七十五人

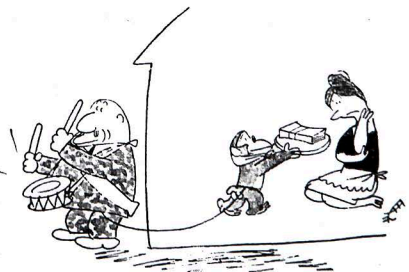
●議会の解散、議員の解職、長および役員解散に必要な選挙権を有する者の総数の三分の一の数 六千二百三十九人

名簿の確定にともない、直接請求に必要な選挙権を有する者の数はつぎのとおりです。

昭和39年12月20日確定
基本選挙人名簿登録人員数

投票区	男	女	計
入善	1,861	2,280	4,141
上原	899	1,071	1,970
青木	921	688	1,309
飯野第1	818	928	1,746
飯野第2	796	884	1,680
小摺戸	591	701	1,292
新屋	821	887	1,708
柵山	572	632	1,204
横山	748	835	1,583
舟見	616	730	1,346
野中	338	398	736
合計	8,681	10,034	18,715

●条例の制定または改廃、監査の請求



こんな事も買収キョウオウになる

馬場のぼる

※1月の納税※

- ・町民税第4期分
- ・国民健康保険税第4期分

一人のこらず納期限までにお互いに努力いたしましょう。

本部は建設課に

除雪対策、基本計画きまる

町では、これからやってくる豪雪のための交通マヒを防ぐため、除雪作業などの基本対策をたてました。

それによると、除雪対策本部は役場建設課におき、本部長に町長、副本部長には助役がなり豪雪の場合、必要に応じて各地区農協(入善を除く)に除雪基地を設けることになりました。

除雪目標として

①常時交通を完全に確保するよう努め、やむを得ないときは、所々に待避所を設ける。

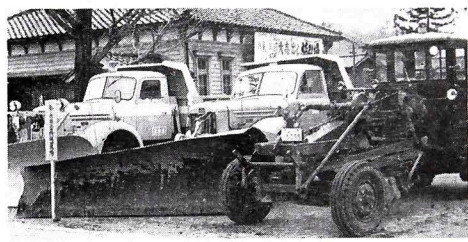
②除雪機械は、いつでも出動できるような点検整備しておく。

③降雪の状況によっては、民間除雪機械の協力を頼む。

④屋根の雪下しの後始末を励行し、完全に交通できるようにし

町では、これからやってくる豪雪のため、役場建設課に消防など、関係機関にも協力を求めました。

写真下は、役場前広場に配置された緊急除雪機械



善意の窓口

入善町善意銀行

歳末たすけあい運動にご協力くださいまして多額のご芳志、ありがたく感謝いたします。

現金の部 (12月～末日まで)		現金の部 (12月～末日まで)	
預託(寄附)	金額	預託(寄附)	金額
樽山 常福寺仏教婦人会一同	1.000	入善中生徒会一同	6.000
小摺戸 若島友衛	1.000	飯野地区 高島児童クラブ	3.000
富山市 宮本考吉	1.500	上青中生徒会一同	2.364
目川 杉原滿治	2.305	上青中 3年生一同	300
舟見地区 婦人会	2.000	入善町連合婦人会	5.000
芦崎 小学4年生	520	入善町城地編物学院	3.500
岡島英樹		入善呉紡自治会一同	17.095
呉紡 清風寮自治会	3.000	飯野地区青年団	3.000
黒部市「黒部ライオンズ」クラブ	5.000	町内(舟見)匿名	10.000
入善高3年女子	1.275	青木一主婦(匿名)	500
生活科一同		青木地区 下村青年団	1.000
入膳7区 佐田澄子	2.000	新屋地区 浦山新児童クラブ一同	1.550
飯野中 全生徒一同	4.622		
入善中1年			
近藤益男外9名	700	2 4 件	78 231

物品の部 11件		物品の部 11件	
舟見中 学校柔道部	白米2斗	飯野中全生徒一同	千羽つつる10連
上野 山田笑子	衣類12点	町内 匿名(女)	クリスマスケーキ1個
入善小 5年C組一同	千羽つつる10連	上青中 3年生一同	千羽つつる4連
入膳 佐田正義	醤油120本	入膳10区 米沢良吉	菓子箱10箱
上青中 2年(青木)	泉以都子	入善呉紡労組	洗面器1式
	千羽つつる1連	入善8区 梅原清一	衣類20点
			オシモチ1枚

- 附記 歳末たすけあい金品の配分については
1. 町内生活保護世帯、母子寮67世帯(サトゥ、食油) 県内福祉施設、町内入所者45名(タオル、石ケン)へ見舞品として 42,495円
 2. 町内生活保護者60世帯へ見舞金として 48,950円
 3. 預託物品については寄附者の意志によりそれぞれ配分す。

共同募金、秋季募金、北海道冷害農民救援義援金 ありがとうございました。 入善町社会福祉協議会

共同募金	575,420円	附記 北海道冷害農民救援義援金 317,000円送金 (6,590円 入善町善意銀行より)
歳末たすけあい	172,080	
護国神社	115,350	
身体障害者	56,515	
計	919,365	
北海道冷害義援金	310,410	
合計	1,229,775	

◆新着図書案内◆

- 自己形成のために 柏谷正雄
 人を知る法 近藤信緒
 日目の格言 堀場正夫
 聞き上手は成功する 坂川山輝夫
 科学の思想 上山春平
 ヒューマニズム 小田切秀雄
 ナショナルリズム 吉本隆明
 芸術の思想 矢内原伊作
 実業の思想 長 幸男
 鈴木大拙 増谷文雄
 定本柳田国男集 柳田国男
 三代回顧録 松村謙三
 軍縮の経済学 宮崎 勇
 キュリー家の人々 杉 捷夫
 宇宙空間への道 畑中武夫
 秀才型鈍才型 中村祥一郎
 出世は学歴できまるか 清川一穂
 青年独立へのみち 高島幸志
 仕事の夢、暮しの夢 松下幸之助
 若き日の人生 武者小路実篤
 君の職業はこれだ 大原 浩
 僕と彼女たち 源氏鶏太
 女の侮蔑 丹羽文雄
 人生案内 〃
 煩悩具足 〃
 理想の良人 〃
 隠花植物 結城昌治
 期待と名づける 樹下太郎
 危険な童話 土屋隆夫
 ひとり芝居 佐野 洋
 美しい季節 藤沢桓夫
 青年あかつき 竹内勇太郎
 浪人無双 村上元三
 風流旗本笠 〃
 魔像殺法 陣出達明
 江戸の紅葵 野村胡堂
 ひとり鷹 江崎俊平

夕方、寒い戸外の作業から帰ってはいらぬおふる、残業での上ないよい運動になり、食おそくまで働いて帰ってのおおふるもたいいえなないほど血液のめぐりも、排せつ器管うれしいものです。暑い季節の働きもよくなります。

のおふるもたいいえなないですが、真冬のおふるもまた、人の長湯は禁物です。また、わたしたち日本人の生活にはあまり熱い湯も感心できません。欠くことのできないものです。大抵四十一、二度ぐらい入浴の効用はまず、一日のが適温とされています。体の弱い人は、ぬるはりつめた

緊張をときほぐしてよく

おふるの効用

湯は寒い冬にはとくに薬効があり、湯は寒い冬にはとくに薬効が頭を使う人なら頭のうっ血をゆずやみかんの皮に、ゆずやみかんの皮には橙皮油とか、チンナモンというように、体中のどこか、チンナモンという強い心作用のある成分がは、足や腰をあたたため、皮肉を刺激するの血の循環をよくします。

つきに、一回の入浴は約千、二、三百回は、ゆずやみかんを有効に使

ゆずやみかん